

平成24年度 九州地方整備局 新技術評価技術一覧

【事後評価】

評価区分の定義(活用効果評価)

実施要領 3.5 新技術の活用促進

評価区分	内 容
設計比較対象技術	活用効果評価において、「当該技術の適用範囲において従来技術に比べて活用の効果が極めて優れている又は優れている技術と評価され、かつ活用の条件の違いに対する評価の安定性を有す」と評価された技術
—	上記以外

九州の技術:九州において開発されたNETIS登録技術

	技術名称	評価区分	備考
1	角形鋼管製車止め【QSK-070001】	—	分類:付属工(港湾)
2	空中電磁法による地質調査【KK-000014】	設計比較対象技術	分類:地質調査
3	乾式ワイヤーソーイング工法【KT-080004】	—	分類:構造物とりこわし工
4	セラダクトA【CB-980038】	—	分類:電線共同溝工
5	カナレックスML【KK-060019】	設計比較対象技術	分類:電線共同溝工
6	早期発芽力検定法【KT-060003】	—	分類:分析・予測システム
7	SMM(エス・エム・エム)工法【KT-020006】	設計比較対象技術	分類:深層混合処理工
8	消波ブロック型枠作業足場装置【HRK-050001】	—	分類:消波工(港湾)
9	軟弱地盤動態観測システム【HK-070014】	—	分類:軟弱地盤処理工
10	エポコラム工法(地盤改良工法)【KT-980205】	設計比較対象技術	分類:深層混合処理工 (H23d準推奨技術)
11	LDis(エルディス)工法【KT-980135】	設計比較対象技術	分類:深層混合処理工
12	スタビランカ【KK-050097】	設計比較対象技術	分類:軟弱地盤処理工
13	パワーブレンダー工法(スラリー噴射方式)【CB-980012】	設計比較対象技術	分類:軟弱地盤処理工 (H23d推奨技術)
14	鉄鋼スラグ水和固化体製造技術【SKK-030001】	—	分類:消波工(港湾)

平成24年度 九州地方整備局 新技術評価技術一覧

【活用促進技術の指定】

活用促進技術

実施要領 3.5 新技術の活用促進

活用効果評価において、技術の安定性が確認されている技術であり、かつ以下の選考要件に該当する技術のうち、それぞれの評価会議が独自に選考し指定するもの

<選考要件>

- イ 特定の性能又は機能が著しく優れている技術
- ロ 特定の地域のみで普及しており、全国に普及することが有益と判断される技術
- ハ その他評価会議の委員が推薦する技術

九州の技術：九州において開発されたNETIS登録技術

	技術名称	備考
1	角形鋼管製車止め【QSK-070001】	分類：付属工(港湾)
2	超低騒音仕様油圧ブレーカを用いた解体・掘削工法【TH-090016】	分類：構造物とりこわし工
3	ガンサイザー【KT-990072】	分類：構造物とりこわし工
4	早期発芽力検定法【KT-060003】	分類：分析・予測システム

【事前審査】

事前審査

実施要領 3.3新技術の活用 3.3.1事前審査

事前審査とは、申請情報等に基づき技術の成立性や直轄工事等における活用の妥当性を確認する審査

九州の技術：九州において開発されたNETIS登録技術

	技術名称	備考
1	高周波CSMT探査機を用いた深度20mまでの地下壕(地下空洞)探査【QS-070012】	分類：地質調査